

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、76年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、64年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、39年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

今年は、核兵器の開発、製造、取得、保有、使用等を禁止とした国際条約である『核兵器禁止条約』が1月22日に発効されるなど、まさに世界は核兵器を廃絶していこうという流れであります。今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2021年8月6日

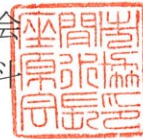
アメリカ合衆国

臨時代理大使

ニコラス・M・ヒル 公使参事官

座間市原水爆禁止協議会

会長 佐藤 弥斗



事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

座間市市民部広聴人権課

電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、76年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、64年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、39年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

今年は、核兵器の開発、製造、取得、保有、使用等を禁止とした国際条約である『核兵器禁止条約』が1月22日に発効されるなど、まさに世界は核兵器を廃絶していこうという流れであります。今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2021年8月6日

英国

特命全権大使

ジュリア・ロングボトム 閣下

座間市原水爆禁止協議会

会長 佐藤 弥斗



事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

座間市市民部広聴人権課

電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、76年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、64年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、39年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

今年は、核兵器の開発、製造、取得、保有、使用等を禁止とした国際条約である『核兵器禁止条約』が1月22日に発効されるなど、まさに世界は核兵器を廃絶していこうという流れであります。今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2021年8月6日

ロシア連邦

特命全権大使

ミハイル・ユーリエヴィチ・ガルージン 閣下

座間市原水爆禁止協議会

会長 佐藤 弥斗



事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

座間市市民部広聴人権課

電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、76年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、64年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、39年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

今年は、核兵器の開発、製造、取得、保有、使用等を禁止とした国際条約である『核兵器禁止条約』が1月22日に発効されるなど、まさに世界は核兵器を廃絶していこうという流れであります。今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2021年8月6日

中華人民共和国
特命全権大使
孔 鉉佑 閣下

座間市原水爆禁止協議会

会長 佐藤 弥 斗



事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

座間市市民部広聴人権課

電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、76年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、64年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、39年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

今年は、核兵器の開発、製造、取得、保有、使用等を禁止とした国際条約である『核兵器禁止条約』が1月22日に発効されるなど、まさに世界は核兵器を廃絶していこうという流れであります。今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2021年8月6日

フランス共和国
特命全権大使
フィリップ・セトン 閣下

座間市原水爆禁止協議会
会長 佐藤 弥斗



事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
座間市市民部広聴人権課
電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、76年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、64年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、39年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

今年、核兵器の開発、製造、取得、保有、使用等を禁止とした国際条約である『核兵器禁止条約』が1月22日に発効されるなど、まさに世界は核兵器を廃絶していこうという流れであります。今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2021年8月6日

インド共和国

特命全権大使

サンジェイ・クマール・ヴァルマ 閣下

座間市原水爆禁止協議会

会長 佐藤 弥斗



事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

座間市市民部広聴人権課

電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、76年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、64年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、39年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

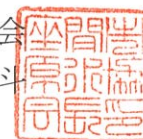
今年、核兵器の開発、製造、取得、保有、使用等を禁止とした国際条約である『核兵器禁止条約』が1月22日に発効されるなど、まさに世界は核兵器を廃絶していこうという流れであります。今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2021年8月6日

パキスタン・イスラム共和国
特命全権大使
イムティアズ・アハマド 閣下

座間市原水爆禁止協議会
会長 佐藤 弥 斗



事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
座間市市民部広聴人権課
電話 046-252-8087